

「どこでも、誰でも、AED」消防處AAA計画

香港消防處 (FSD) の「どこでも (Anywhere)、誰でも (for Anyone)、AED」(AAA計画) は、自動体外式除細動器 (AED) を普段の暮らしの中で手軽にご利用いただけるよう、その提供と普及を目的としています。命をより確実に守るため、FSDは現地の様々な部門と協力しながら、香港全域で利用できるAEDの数を増やしていくと同時に、緊急時にも素早くAEDを利用できるよう市民の意識と能力を高めていけるよう努めています。同計画におけるAED情報は、FSDが開設したオンラインプラットフォーム「緊急用AED情報集積レジストリ (CARE)」に集められ、AEDが必要となった際に利用できる場所など詳しい情報を皆様にお伝えしています。FSDはまた、参画団体や地域のボランティアの方々にも幅広いサポートを提供しています。詳しくは以下をご覧ください。

一般の方も、以下のいずれかの方法でFSDのAAA計画にご参加いただけます。



FSDのオンライン情報プラットフォーム「CARE」に所有されるAEDを直接登録いただくか、FSD「AAA計画」にご登録ください。



FSD「AAA計画」にご登録ください。FSDは以下のサポートを提供しています。



✓ 心肺蘇生法 (CPR) と AED の説明会



✓ CPR と AED の具体的な研修



✓ AED の購入や関連の応急措置についてのアドバイス



✓ AED のメンテナンスに関するアドバイス



✓ 最適な AED の設置と使用のための現場調査



✓ AED による救助と手順についての簡単な説明



自動体外式除細動器 (AED) 主なポイント

事前の兆候なし

香港では毎年6,000件以上もの突然の心停止 (SCA) が発生しています。これは、いつでもどこでも発生する恐れがあります。



3分間で救命

3分以内にAEDを使用すれば、被害者の生存率は70%以上になります。



一刻を争う

SCA被害者の生存率は、1分ごとに7~10%低下します。



訓練が不要

事前に訓練を受けなくても、誰でも命を救う手助けをすることができます。

生存率 2.3%

香港でのSCA被害者の生存率は、約2.3%に過ぎません。



安全で信頼できる

AEDは、被害者の状態に基づいて、除細動ショックが必要かどうかを判断します。



軽くて持ち運びが容易

AEDは小型なので、発生現場に簡単に持ち運ぶことができます。



すぐに利用できる

AEDは、いつでもどこでも手の届くところに用意されるべきものです。

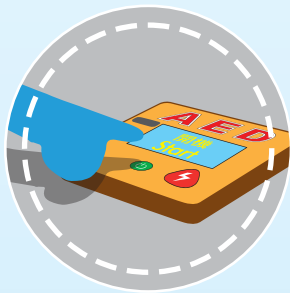


簡単な操作

AEDは、ほんの簡単な操作で命を救うことができます。



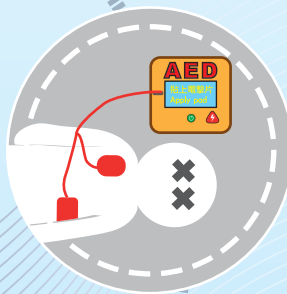
AEDの使い方



1 スイッチを入れる



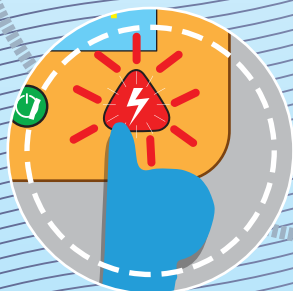
5 引き続き心肺蘇生法を行う



2 電極パッドを胸に貼る

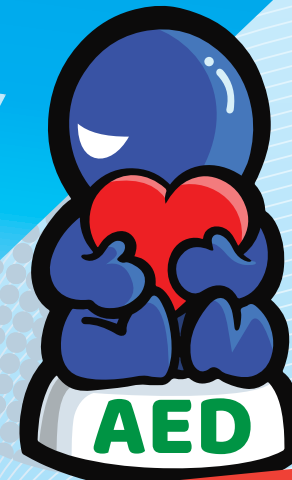
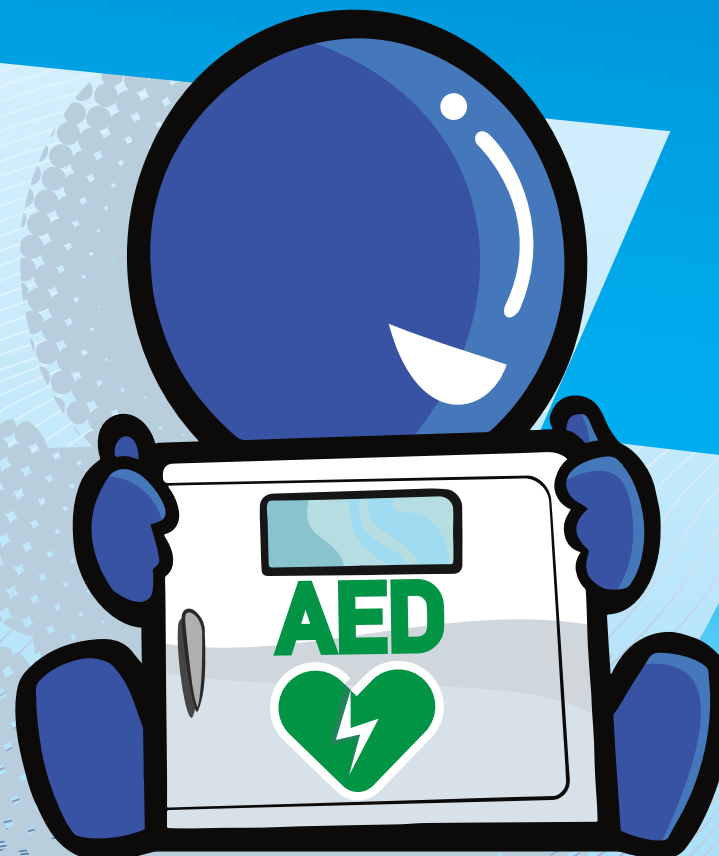


3 自動心拍分析



4 AEDの指示に従い電気ショックを与える

「どこでも、誰でも、AED」



「どこでも、誰でも、AED」



香港消防處
Hong Kong Fire Services Department
www.hkfsd.gov.hk